

# 若者が元気に活躍できる場をおやじたちが創出

活動地域（愛知県大口町）

## 男性のプロフィール

氏名：土井 謙次さん

年齢層：中高年層（40～50 歳代）

活動概要：「おおぐちおやじの会」のメンバーの一人。メンバーは現在約 30 名、平均年齢 52～53 歳。女性が約 3 割を占める。

## 活動開始のきっかけ

### 地域の子どもや学校が抱える問題解決のためにおやじが立ち上あがる

今から 10 年ほど前、大口町では、「世代間交流が少ない」、「町や地域行事への父親の参加が少ない」、「生徒指導に困っている中学校がある」などの問題を抱えており、学校関係者や P T A 関係者などはその点に問題意識を感じていました。ちょうどそのような時期に、後に「おおぐちおやじの会」を設立することになった現、田中聖章会長が、ある講演会で聴いた「小坂井中学校おやじの会」代表の中西氏の話に触発されて、「地域のおやじが集まる、おやじの会を作りたい」という思いを強くしたのです。それを機に、会長をはじめ、地元中学校の新・旧 P T A 会長が集まって、「おやじの会設立準備委員会」を平成 14 年 3 月に立ち上げ、その後、計 3 回の準備委員会の開催を経て、平成 14 年 6 月、「おおぐちおやじの会」の設立に至りました。私自身も、準備委員会からおやじの会設立までメンバーの一人として携わりました。

## 活動の内容

### ジャンルを限定せず、老若男女が楽しめる行事を企画・運営

「おおぐちおやじの会」としての最初の活動は、地域の「夜回り」をすることでした。しかし、これは一回で挫折。地域との人間関係が構築されていない中での夜回りは、若者たちに受け入れられなかったのです。このため、おやじの会の認知度を上げること、地域の若者が参加できる行事をつくること、若者との関係づくりを行うことを目指すことにしました。

そのための取り組みの一つが、「ダンス&ミュージックフェスティバル」です。平成 14 年 12 月、町の経済的支援を受けて、おやじの会が主催しました。青少年の子どもたちのパフォーマンス発表の機会とすることが第一の目的でしたが、世代間交流もねらって、主婦や大人も出演団体に加えるとともに、ダンスや音楽のジャンルも限定しないこととしました。イベント前には、出場する子どもたちの育成のために、ヒップホップダンススクールを開きました。若者が参加できる「ダンス&ミュージックフェスティバル」は毎年開催しており、昨年で 10 回目を迎えています。

また、父子のふれあいの機会を提供することを目的とした「父子料理教室」（町との協働事業）や、若者が活躍できる場を創出することを目的とした「ロックバンドフェスティバル」も開催しています。

平成 24 年 1 月には、おおぐちおやじの会が中心となって「愛知おやじサミット」を開催しました。県内各地からおやじの会の代表が集まり、「子育てに父親がいかに関わるか」を熱心に討議しました。

このほか、「大口町民体育祭」や「ふれあいまつり」を支援するなど、地域イベントにも貢献しています。



ダンス&amp;ミュージックフェスティバル



父子料理教室（中学校の料理教室にて実施）

## 子どもが変わってくれたとき、参加者との一体感を実感したとき

10年ほど前、生徒指導に困っていた中学校をPTAとおやじの会が連携して救った出来事が、特に印象深く残っています。正規の学校主催の文化祭とは別に、第二の文化祭「ゆりの木祭」をPTA主催、おやじの会協力のもとで開催しました。ゆりの木祭は、生徒の自主性に任せて、バンドを組ませ、バンド練習をし、それを披露する場としました。ゆりの木祭を経験したことで、生徒の中で抑圧されていたエネルギーが良い方向に発散したのか、生徒たちの中で「何か」が変わり、その後、劇的な効果が見られました。活動的になったり、部活動の成績がアップしたりと、それぞれの生徒のターニングポイントになったのです。その後、学校はどんどん良くなっていきました。このように目標を達成するたびに、喜びを感じています。

また、ダンス&ミュージックフェスティバルを開催した際に、出演者と観客が一体になって会場が盛り上がりを見せたときや、父子料理教室の際に、父親と子どもと一緒に料理を作り、できあがった料理を食べている場面を見たときには、嬉しく、また、微笑ましく、「毎年やって良かった」と思います。

### 周囲との関わり

#### おやじの会だけど、女性をメンバーに勧誘

女性が約3割も占めるのは、一般的な「おやじの会」としては珍しいケースだと思います。もともとは女性団体から幼児教育の運動会などで男手がほしいとおやじの会に依頼があり、「それなら、おやじの会の活動も手伝って」と交渉し、「いっそのことメンバーになって」と誘ったのです。女性の中核メンバーも育っています。女性に助けられることや教えられることは非常に多く、会の中での女性の存在は大きいと感じています。

#### 個性あふれる多様なメンバーとのつながり

おやじの会には、昔フルだったけれど今は立派なおやじ、まちの電気屋さんや建設会社社長、研究者、校長先生の経験者など、本当に個性あふれるメンバーがそろっています。私自身、この会を通じて、素晴らしい人たちと出会い、ともに活動を続けてこられたことを誇りに思っています。

上述以外では、中学校との関わりが挙げられます。おやじの会は、中学校のソフトボール部との交流試合や中学生の保護者と協力した「中学校の窓ふき」を行っており、中学校との良好な関係ができています。

### 直面した課題と解決方法

#### 30代、40代の男性の新規参加者の勧誘が課題

おやじの会は年齢層が50代中心であり、今後、活動を継続するためには、小中学校に通う子どもを持つ現役の30代、40代の男性の新規参加が重要であると考えています。

これに対応するために、おやじの会主催イベントや支援イベントの開催時に、おやじの会のPRチラシを配り、新規参観者の勧誘を行っています。しかし、今のところ、30代、40代の新規参加者はあまり増えていないため、今後も引き続き、勧誘を行っていきたいと考えています。

### これからの展望

#### メンバー仲良く、これからも活動を継続

おやじの会のメンバーは、自らの意思で集まってきて、好きで活動を行っている人ばかりなので、メンバーが集まると本当に楽しい時間を過ごすことができます。これまでも、おやじの会の主催イベントや支援イベントでは、子どもたちだけでなく、自分たちも楽しみながら活動をしてきました。今後は、会員間の親睦をより深め、もっともっと活動を楽しめるように、イベント活動とは別に、参加者自身が楽しめる行事（田楽パーティやバーベキュー、日帰りツアー）も企画し、実行していきたいと考えています。メンバーの仲が良ければ良いほど、活動は長く続けられると思います。